

刊行にあたって

大友 弘巳

2008年9月に、生協OB仲間9人の共同のブログ「コラボ・コープOB」が開設されてから3年余が過ぎました。

この間に私が投稿した記事は70通ほどで、当初は、社会問題や、読書の感想、現役の頃の思い出などの記事が多かったのですが、09年秋になって、首都圏3生協の合併の検討が再開されることになったことを聞いてからは、生協の事業連帯や合併に関わる記事が多くなりました。

その中から45通を抜き出して編集し、このたび、このような形で自費出版することを思い立ちました。その理由は以下のようなことです。

一つは、ブログへの記事という形では、限られた方々にしかご覧いただけないことを残念に思い続けてきたことです。

ブログは、お金がかからずに、瞬時に全国へ伝えられる点では優れているのですが、パソコンを使い慣れている方、そして、ブログ「コラボ・コープOB」をご存知で、それを「お気に入り」に登録して下さっている方にしか読んでいただけない、という制約があります。

二つめには、これまで投稿してきた内容を、一度にまとめてご覧いただけるようにしたい、と思うようになったことです。

ブログでは、一つひとつの記事は断片的なものですので、系統적으로お伝えしていくことは難しく、古い記事を検索してご覧いただくのも面倒なことです。一度、まとめてご覧いただけるようにしたい、と考えるようになりました。

三つめには、今年、私は年男で、6度目の辰年を迎えることになり、一つの節目の年と思うようになったことです。

元気なつもりでいましても、年相応に病気の心配もあり、自費出版などエネルギーも費用もかかることは、今のうちにやっておかなければなかなか出来なくなりそうだと考えるようになりました。

ささやかな部数しか用意できませんが、長年お世話になってきた皆様にお

目通しいただければ光栄と思っています。

1990年頃から全国各地に地域生協の事業連合設立が進み、いまや全国の生協の大方が事業連合に参加している状況になっている割には、生協の事業連帯のあり方についての議論が不足しているのではないかとかねがね思ってきました。

今年は国際協同組合年として、協同組合間の連帯の議論が活発に行われるものと考えられ、地域生協間の事業連帯についても大いに議論されることを期待したいと思っています。

私はもともと実務者であり、理論的研究や文章を書くことは苦手としてきましたが、コープネット事業連合の設立準備から創業期の10年近くの間、責任者として携わってきた経験と、各地で事業連合に関わっておられたOB仲間の皆さんと経験交流や議論を重ねてきたことは貴重な財産と思っています。

とはいえ、過去の経験だけで考えていてはならないと思い、時代の変化や、流通業界の動向、海外や全国の生協の新しい動きに注目して、情報を集めることにも心がけてきました。

最近、「コラボ・コープOB」へのアクセスがかなり増えており、しかも、全国各地からまとまった数のアクセスが多くなっていることは、事業連帯を巡る議論への注目が広がっていることの反映ではないかと推測しています。

もしこの本が、事業連帯のあり方の議論に少しでも役に立つことがあれば、望外の喜びです。

本のタイトルは「生協の持続的発展を願って」、としました。

「生協の」ではなく、「さいたまコープの」としようかとも考えましたが、私はさいたまコープだけの発展を願っているわけではありませんので、おこがましいようにも思いつつ、「生協の」とした次第です。

私が意見を述べているのは、すべて「持続的発展を願って」のこと、と自分では思っています。もちろん今のままでよいとも思いません。抜本的な改革は必要ですが、しかしそれは、合併による方向ではなく、個々の生協の質的強化と事業連帯のあり方の見直し・改革による方向で、と考えています。

一見すると平行線のままと思われるかもしれませんが、この間の様子では、懸念してきた点のいくつかについては、合併を待たず、今からできることを進めていく努力が始まっていると感じられ、私も含めてOBたちが意見を述べていることの意味はあったのではないかと思っています。

振り返ってみますと、共同のブログ「コラボ・コープOB」があったからこそ折々の投稿の機会を得ることができたわけですし、運営メンバーの仲間の皆様からのご教示や励ましをいただくことがなかったら、このように持続することは難しかったと思っています。

とりわけ、コープとうきょうOBの斎藤嘉璋氏、ちばコープOBの高橋晴雄氏、いわて生協OBの加藤善正氏のお三方には、意見交換させていただき、ご教示いただいた点が数多くあったことに、あらためて深く感謝申し上げます。

できるだけミスの少ない原稿に近づけてから入稿して、印刷会社に余分な手間隙をかけないようにしたいと考えていましたところ、埼玉大学生協時代に知り合い、ともに埼玉中央市民生協（さいたまコープの源流の一つ）の設立活動を始めたころからの友人、駒場正廣氏に、丹念な校正のご協力をいただくことができました。厚く感謝の意を表します。

もし、普段ホームページやブログをご覧の方で、まだ「コラボ・コープOB」はご覧いただく機会がなかった方々には、これを機にご覧いただければ幸いです。

「コラボ・コープOB」のURLは以下の通りです。

<http://collabo70.blog60.fc2.com/>

